

手形・小切手機能の電子化に関する検討会（第4回） 議事概要

1. 日 時 2018年9月26日（水）15:30～16:10
2. 場 所 朝日生命大手町ビル（千代田区大手町2-6-1）24階 会議室
3. 議 題 (1)「手形・小切手の利用実態の把握について」（事務局説明）
 (2)「電子化によるコスト削減効果の試算について」（事務局説明）
 (3)「電子記録債権・EBによる振込の利便性向上、導入支援施策、周知強化施策等の検討について」（事務局説明）
 (4)「今後のスケジュールについて」（事務局説明）
 (5) 質疑応答・意見交換

4. 議事内容

(1)「手形・小切手の利用実態の把握について」

事務局から、資料に沿って説明。

(2)「電子化によるコスト削減効果の試算について」

事務局から、資料に沿って説明。

(3)「電子記録債権・EBによる振込の利便性向上、導入支援施策、周知強化施策等の検討について」

事務局から、資料に沿って説明。

(4)「今後のスケジュールについて」

事務局から、資料に沿って説明。

(5) 質疑応答・意見交換

(委員)

- ・ 今回の取りまとめのとおり、電子化の推進によって利用者と金融機関の双方にコスト削減効果が見込まれるため、経済合理性の観点から電子化は推し進めるべきだと考えている。
- ・ 現在、各金融機関において、店頭受付の方法について見直しを行っている。当行においては、お客様に電子化の利便性を体験していただくことを通して、電子化を推進している。これにより、お客様からは、「銀行に行かなくてよくなった」、「手続きが簡単になった」、「手数料が安くなった／要らなくなった」といった声が挙がっている。さまざまな課題もあるが、電子化については、お客様の利便性の観点から改革が必要だと考えている。
- ・ また、本格的な電子化を目指すためには、電子化が困難な方を念頭において、十分なフォローが必要であろう。
- ・ 各金融機関のEB（エレクトロニック・バンキング）・でんさいネットサービスは日々進化している。特にインターネットでの代替サービスやスマートフォンによるサービスが広

まっている。実際に体験していただくことで、お客様の意向が分かるということもある。当行で改革を行っているなかで、これまで金融機関側での周知が不足していたということを感じている。(最終報告書の取りまとめまで) 残り少ない時間ではあるが、銀行界として EB や電子記録債権について、どのようなサービスを提供しているのか、業務 WG で丁寧に説明していく必要があると考えている。

- ・今後の基本方針としては、早期の電子化を目指しつつ、銀行界として不足している部分、特に周知の部分に積極的に取り組んでいきたい。

(委員)

- ・今回の報告においては、中間報告での指摘を受けて、EB・電子記録債権の導入コスト・スイッチングコストを反映した試算を算出していただいたが、その結果、利用者・金融機関の双方にメリットがあることが試算上は確認できた。しかし、これらの試算は社会全体のマクロ的なものである。今後、手形・小切手機能の電子化を推進していくに当たっては、個々の利用者に対してどのような影響があるかという検証が必要である。電子化によりコストが増える利用者や、電子化への移行が難しい利用者があることが想定されるため、そのような利用者に配慮した丁寧な検討が必要だと考える。実効性のある取りまとめに向け、協力をお願いしたい。

(オブザーバー)

- ・全面的に移行して(紙という)選択肢をなくすことについては別であるとしても、(手形・小切手の機能の)電子化をなるべく使いやすいかたちで推進していくことは、皆のコンセンサスである。今回の試算もそれに沿った形で出されており、前進的で意義のある取組みであろう。
- ・個人的には、(利用者サイドにおいて)印紙代のコストだけが減ったという試算になっている点については、その数字でいいのだろうかという疑問があるが、基本的に電子化を進めていくことは大事なことだと思っている。
- ・EBの利便性に関する調査については、今後のアクションプランにつながり、お客様利便性向上のヒントになるであろう。EBの利便性に関する調査においては、回答の容易さも考慮して、選択式形式のアンケートになっていると理解しているが、先進的な取組みをしていたり、強い思いを持っていたりする金融機関については、個々の事例を掘り下げていただくと、より検討が進んでいくものと思われる。

⇒(事務局)

- ・印紙代の論点については、電子記録債権法ができたときに、割り切ったと理解している。
- ・一方、利用者のメリットであるコスト試算は、比較的保守的に試算しており、IT化・ITリテラシーのもたらす生産性向上は計り知れないものだと考えている。その他の指摘については、承知した。

(以上)